

## 2022 年度日本海洋学会春季評議員会議事録

日時:2022 年 5 月 20 日(金)15:00~17:30

場所:Zoom を利用したオンライン開催

出席者:神田会長、伊藤副会長、相木、青木、安藤、井桁、石井、石坂、市川、上野、梅澤、江淵、大島、大林、小川、乙坂、小畑、郭、川合(美)、川合(義)、河宮、北出、轡田、久保川、小松、根田、齊藤、須賀、鈴木、宗林、高橋、武田、張、津田、東塚、中村、西岡、林、原田、日比谷、広瀬、升本、道田、見延、森本、安田(一)、安田(珠)、安中、吉江、吉川 各評議員(50 名)  
岩本編集委員長、帰山広報委員長、田所研究会会長、中野(俊)西南支部支部長、茂木研究会会長、吉田編集委員長、岡(顕)幹事、土井幹事、中野(英)幹事、西部幹事、野口幹事、三角幹事、毎日学術フォーラム(平坂)

委任状:磯辺、植原、植松、岡(英) 各評議員(4 名)

開会に先立ち、三角集会担当幹事より、出席者 50 名、委任状 4 通で評議員会細則第 3 条の規定による評議員会の成立要件を満たしている旨報告があった。

### 議題

#### 1. 会長挨拶(神田会長)

評議員会開催に先立ち、神田会長より挨拶があった。

新型コロナウイルス感染拡大が続いており、評議員会もオンラインの開催が 5 回目となったことが述べられた。

日比谷紀之会員が、第 14 回海洋立国推進功労者表彰を受賞したことが述べられ、祝意が示された。2022 年度 JpGU フェローに河村公隆会員、佐野有司会員、中村尚会員が選出されたことが述べられ、祝意が示された。

4 月 11 日に Parsons 名誉会員が逝去されたことが述べられ、哀悼の意が示された。

2021 年度は日本海洋学会創立 80 周年であり、秋季大会は記念大会として開催されたことが述べられた。秋季大会の開催に尽力された東京大学大気海洋研究所の会員および関係会員に感謝の意が示された。研究に関する将来構想 WG でとりまとめた 7 編の総説論文が海の研究 30 巻 5 号に掲載されたこと、JOS ニュースレターの創立 80 周年記念誌と記念品が配布されたことが述べられた。一連の記念事業に尽力された会員に感謝の意が示された。

海洋生物シンポジウムが 3 月 19 日にオンラインで開催されたことが述べられた。開催にあたった海洋生物学研究会の会員に感謝の意が示された。

2022 年度の秋季大会は名古屋大学と三重大学の会員が主催で、名古屋大学で開催される予定であることが述べられた。対面とオンラインのハイブリッド形式で開催される予定であることが述べられた。

日本学術会議でとりまとめている大型研究計画について方針がまとまり、「未来の学術振興構

想」という名前に変更され、6月頃から募集が始まる見込みであることが述べられた。マスタープラン 2020 において、重点大型研究計画として選出された「深海アルゴフロートの全球展開による気候・生態系変動予測の高精度化」の扱いについては未定であることが述べられた。JpGU2022 で行われる計画提案のシンポジウムは、海洋学会からの発表は見送ったことが述べられた。

## 2. 報告事項

### 1) 会務報告

#### 庶務(乙坂幹事)

2021年4月から2022年3月の会員の異動状況について報告された。

#### 編集

##### ① JO(江淵編集委員長)

JO Vol. 76(1)から Vol. 78(3)までの発行状況について報告された。2016年から2022年5月までの論文の投稿・受理状況について報告された。特別セクションの編集状況について報告された。

JOのウェブサイトの特集セクションのページを新設したことが報告された。

掲載料の請求時期を早めるため、手続きを改善したことが報告された。

JOの著作権について従来の Copyright Transfer Statement から、License to Publish に変更することを出元である Springer から打診され、編集委員会で検討し、提案通り移行したことが報告された。

Springer が始めたプレプリント公開サービス「In Review」については導入を見送ったことが報告された。

##### ② 海の研究(吉田編集委員長)

2021年度の発行実績と2022年度の発行予定について報告された。

論文の投稿・受理状況について報告された。

J-STAGE における2022年4月の月間アクセス数ランキングについて報告された。

##### ③ JOS ニュースレター(岩本編集委員長)

2021年度の発行実績、2022年度の発行予定について報告された。

#### 研究発表(土井幹事)

2021年度の秋季大会の実施について報告された。

2022 年度の春季大会が JpGU2022 の中でハイブリッド形式で開催されることが報告された。  
2022 年度の秋季大会は名古屋大学と三重大学の会員を中心となり、名古屋大学を開催地としてハイブリッド形式で実施されることが報告された。

#### 賞選考

① 学会賞・岡田賞・宇田賞(武田前委員長)

選考状況について報告された。

② 日高論文賞・奨励論文賞(升本前委員長)

選考状況について報告された。

③ 環境科学賞(河宮前委員長)

選考状況について報告された。

#### 選挙管理(中野幹事)

各賞可否投票および賞選考委員選挙結果について報告された。

#### 広報委員会(帰山委員長)

2021 年度は出前授業やシンポジウムや公募情報の配信、「海洋学への誘い」という動画の作成等を実施したことが報告された。

JpGU2022 では 3 大会ぶりに現地ブースを出展することが報告された。

#### 海洋環境委員会(梅澤委員長)

2022 年度の「青い海助成」事業の一般提案型は応募がなかったことが報告された。緊急提案型については募集中であることが報告された。

2021 年度に終了した 3 件の課題の実施内容について報告された。

#### 海洋観測ガイドライン編集委員会(乙坂委員長)

2021 年度は和文第 5 版、英文第 5 版の原稿を収集・編集したことが報告された。

2022 年度は和文第 5 版を 6 月頃に発行予定であることが報告された。

#### 西南支部(中野支部長)

2021 年度はニュースレターの発行や支部ホームページの更新、支部例会等を実施したことが報告された。

2022 年度は鹿児島大学の加古会員が世話人となり支部例会を開催予定であることが報告された。

#### 海洋環境問題研究会(梅澤研究会会長代理)

海洋環境問題研究会の総会が5月11日に開催されたことが報告された。

秋季大会において「洋上風力発電の導入に向けた課題と現状に関する情報交換」というシンポジウムを開催予定であることが報告された。

沿岸海洋研究会(森本研究会会長代理)

2022年度第1回の委員会を5月16日にオンラインで開催したことが報告された。

秋季大会において「海洋プラスチック動態研究の最前線」というシンポジウムを開催予定であること等が報告された。

沿岸海洋研究の投稿規定の変更、海洋学会の法人化に向けた沿岸海洋研究会の対応について審議したことが報告された。

海洋生物学研究会(田所研究会会長)

海洋生物シンポジウム2022を3月19日にオンラインで開催したことが報告された。24件の発表があり、学生優秀発表賞を2件授与したことが報告された。

教育問題研究会(須賀研究会会長)

2021年度は、海のサイエンスカフェ、海洋教育の普及・実践のためのネットワーク作り、教員免許状更新講習、女子中高生夏の学校2021、サイエンスアゴラ2021、海の出前授業、大学施設を利用した海洋教育の実践等の活動を実施したことが報告された。

2022年度の活動計画が報告された。

ブレイクスルー研究会(茂木研究会会長)

JOS ニュースレターの80周年記念号にブレイクスルー研究会の活動について寄稿したことが報告された。

研究に関する将来構想ワーキンググループ(高橋幹事)

ワーキンググループでの議論を踏まえ、海洋学の10年展望2021として7本の総説論文にとりまとめ、海の研究30巻5号に掲載されたことが報告された。

海洋学会創立80周年記念シンポジウムにおいて将来構想の紹介と議論を行ったことが報告された。

JOS ニュースレターの80周年記念号に将来構想に関するアンケート結果と総説執筆に関わるエッセイを寄稿したことが報告された。

一般に向けた将来構想の表出について協議していることが報告された。

リクルート戦略WG(梅澤幹事)

海洋学会のホームページに「海洋・水産系の大学・進路の相談窓口」を設置したことが報告された。

## 80周年記念WG(乙坂幹事)

80周年記念事業として、記念シンポジウムを開催したこと、JOS ニュースレターの80周年記念号を発行したこと、記念品として手ぬぐいを作製して配布したことが報告された。

## 2) 学界関連報告

### 学界動向(伊藤副会長)

学界関連の動向について報告された。詳細についてはJOS ニュースレターに掲載される。

### 日本地球惑星科学連合(土井幹事)

2022年度JpGUフェローに河村公隆会員、佐野有司会員、中村尚会員が選出されたことが報告された。

### 水産・海洋科学研究連絡協議会(伊藤副会長)

2021年11月12日に日本学術会議の公開シンポジウム「フードシステムと養殖の未来」が開催されたことが報告された。

## 3. 審議事項

### 1) 日本海洋学会吉田賞の新設について(神田会長)

日本海洋学会の吉田賞の新設について提案され、承認された。

吉田賞の英文の正式名称について検討することになった。

### 2) 会則・細則の改定について(乙坂幹事)

吉田賞の新設に関わる会則・細則の改定について提案され、承認された。

### 3) 名誉会員の推薦について(乙坂幹事)

名誉会員として新たに2名の会員が推薦され、承認された。

### 4) 受賞記念講演座長について(乙坂幹事)

受賞記念講演における座長について提案され、承認された。

### 5) 賞選考委員の委嘱について(神田会長)

三賞選考委員について2名の追加委嘱が提案され、承認された。

論文賞選考委員について1名の追加委嘱が提案され、承認された。

環境科学賞選考委員について1名の追加委嘱が提案され、承認された。

### 6) 選挙のオンライン化について(中野幹事)

選挙のオンライン化について提案され、承認された。

7) 法人化について(神田会長)

法人化について検討状況が報告され、今後の方向性や進め方について承認された。

8) 2021 年度事業報告ならびに決算報告について(乙坂幹事・西部幹事)

2021 年度事業報告ならびに決算報告について提案され、承認された。

現状で著作権料収入は雑収入に区分されているが、事業収入に区分するのが適切ではないかという意見があり、検討することになった。

9) 2021 年度監査報告について(宗林監査)

2021 年度監査報告について述べられ、承認された。

10) 2022 年度事業計画並びに予算について(乙坂幹事・西部幹事)

2022 年度事業計画並びに予算について提案され、承認された。

11) 2022 年度通常総会議事次第について(乙坂幹事)

2022 年度通常総会議事次第について提案され、承認された。

12) 海洋生物学研究会会則変更について(高橋幹事)

海洋生物学研究会の会則変更について提案され、承認された。

13) 「海洋環境の事典」編集委員の選出について(伊藤副会長)

「海洋環境の事典」の編集委員の選出について提案され、承認された。

以上